

# iPassConnect 3.62 ユーザ ガイド

バージョン: 1.0, August 2008 年9月

本社  
iPass Inc.  
3800 Bridge Parkway  
Redwood Shores, CA 94065 USA



[www.ipass.com](http://www.ipass.com)  
+1 650-232-4100  
+1 650-232-0227 fx

## 目次

<b>はじめに</b>	<b>5</b>
システム要件	5
ハードウェアの必要条件	5
オペレーティング システムの必要条件	5
サポートされているハードウェア	6
ワイヤレス カード	6
モバイル データ カード	6
サードパーティ アプリケーションとの統合	6
VPN	6
アンチウイルス アプリケーション	6
パーソナル ファイアウォール	6
iPassConnect のインストール手順	7
iPassConnect のアンインストール	7
以前のバージョンから iPassConnect 3.62 へのアップグレード	7
<b>iPassConnect の使用</b>	<b>8</b>
利用可能なネットワーク	8
電話帳接続	8
パーソナル ネットワーク	8
統合ソリューション	9
拡張機能	9
<b>セットアップ</b>	<b>10</b>
ログイン情報	10
代替の識別情報	11
パーソナル ネットワーク	12
モバイル データの設定	13
検索	13
手動設定	14

## 目次

ネットワーク情報.....	14
SIM セキュリティ管理.....	15
ダイヤルのプロパティ.....	16
DSL の設定.....	17
ISDN 接続の設定.....	18
GSM 接続の設定.....	18
イーサネットの設定.....	18

## **接続と切断** **19**

自動検出.....	19
イーサネット.....	19
WLAN.....	19
モバイル データ.....	20
ネットワーク情報.....	20
接続.....	20
検索のヒント.....	22
切断.....	22
iPassConnect の終了.....	22
POP の詳細.....	22
システム トレイのアイコン.....	23

## **拡張機能** **24**

My iPass.....	24
iPassConnect の更新.....	24
自動更新.....	24
手動更新.....	24
お気に入り.....	25
ホーム ブロードバンド接続.....	26
接続後のプログラム起動.....	27
ダイヤルアップ拡張機能.....	28
スマートリダイヤル.....	28



## 目次

話し中の場合の再試行 .....	28
市町村レベルでの接続 .....	29
通話カードの使用 .....	30
Windows ライブ ログオン .....	30
ワイヤレス オートコネクション .....	31
ログオフ オン コネクト .....	31

## サポート 33

技術サポート .....	33
接続ログ .....	33
ヘルプ .....	33
バージョン情報 .....	33
その他詳細 .....	34

## トラブルシューティング ヒント 35

全般的な接続のヒント .....	35
ダイヤルアップのトラブルシューティング ヒント .....	36
イーサネットのトラブルシューティング ヒント .....	38
WLAN のトラブルシューティング ヒント .....	39
モバイル データのトラブルシューティング ヒント .....	39

Copyright (C) 2008, iPass Inc. All rights reserved.

### 商標

iPass、iPassConnect、および iPass ロゴは iPass Inc. の商標です。その他のブランド名や製品名はすべて、それぞれの会社の商標または登録商標です。

### 保証

本書のいかなる部分も、著作権者の事前の同意なしに、複製、開示、電子的な配布、または使用することはできません。

ソフトウェアおよび文書の使用には、iPass 企業リモート アクセス契約、またはチャンネル パートナー再販契約の条項が適用されます。

本書内の情報は予告なく変更されることがあります。

本書では可能な限りにおいて架空の企業および場所を使用いたしました。実際に同じ企業名または場所が存在した場合は完全なる偶然であり、宣伝を意図するものではありません。



## はじめに

iPassConnect 3.62 for Window へようこそ! このガイドには、iPassConnect を使用するための手引きとしてご使用いただくことを目的として、インストール、設定、基本的な使用方法、および高度な使用方法に関する情報が記載されています。

iPassConnect を使用すると、プロバイダの iPass グローバル ネットワークを通じてインターネットおよびエンタープライズ リソースに接続できます。さらには、VPN、パーソナル ファイアウォール、または Web ブラウザといった他のプログラムを自動的に起動するように、iPassConnect をカスタマイズできます。

## システム要件

### ハードウェアの必要条件

- WindowsXP、Vista、Windows2000 を実行するのに十分なハードウェア。Pentium III プロセッサ同等以上を推奨
- 512 MB のメモリ
- 500 MB のハード ディスク空き容量
- 16-bit のカラー モード
- 使用する接続タイプに応じて、少なくとも以下の接続デバイスのいずれか 1 つ
  - GSM 接続用の GSM モデム
  - ISDN 接続用の ISDN ターミナル アダプタ
  - ダイヤルアップ接続用の 56K v90/92 モデム
  - PHS 接続用の PHS 電話
  - WLAN 接続用の WLAN アダプタ
  - イーサネット接続用のイーサネット アダプタ
  - モバイル データ接続用のモバイル データ カード

### オペレーティング システムの必要条件

iPassConnect3.62 は、以下のプラットフォームでサポートされています。

- Windows Vista (Ultimate/Enterprise/Business/Home Basic/Home Premium)
- Microsoft Windows 2000 SP4 以降
- Microsoft Windows XP (Home または Professional) SP2 以降
- ご使用のオペレーティング システムを対象とした Microsoft が推奨しているすべての Windows アップデートをインストールすることを強くお勧めします。

## サポートされているハードウェア

### ワイヤレス カード

WLAN 接続には 802.11b/g ワイヤレス カードが必要となります。iPassConnect は NDIS 5.1 インターフェイスを備えたすべての標準 Wi-Fi カードをサポートしています。

### モバイル データ カード

iPassConnect モバイル データ接続を利用するには、サポートされているモバイル データ カードおよびモバイル データ携帯キャリアとの契約が必要になります。

iPassConnect は各種のモバイル データ カードをサポートしており、サポート対象カードは定期的に追加されています。特定のデバイスについての質問は iPass のお客様担当者にお問い合わせください。

**注意:** iPassConnect にはモバイル データ カード ドライバは含まれていません。モバイル データ キャリアのアカウントをインストールして有効にすると、カード ドライバがインストールされます。キャリアのネットワークに接続するためのカードは、iPassConnect での使用に先立って、キャリアのクライアントを使用してフル インストールおよびテストする必要があります。

## サードパーティ アプリケーションとの統合

iPassConnect 3.62 は、以下のさまざまなサードパーティ製品と統合できます。

### VPN

- Aventail
- Check Point
- Cisco Systems VPN Client
- NCP
- Nortel Contivity Client
- Microsoft PPTP

### アンチウイルス アプリケーション

- Network Associates McAfee Enterprise バージョン 8.0i
- Symantec Norton AV Corporate Edition バージョン 10.0.0.359
- Trend Micro Office Scan Corporate Edition バージョン 7.0

### パーソナル ファイアウォール

- ISS Black ICE v3.6.eoe、ISS RealSecure Desktop 7.0.eoe、ISS Proventia Desktop 8.0.614.0
- Sygate Secure Enterprise v4.1
- Check Point Integrity Desktop v6.0.100

## iPassConnect のインストール手順

ご使用のシステムは、システムの必要条件を満たしている必要があります。そうでない場合、iPassConnect インストーラはインストールを行いません。

インストール作業を行うには、ローカルの管理者権限が必要です。


**iPassConnect をインストールするには:**

1. 社内のイントラネットまたはサービス プロバイダの Web サイトから、ソフトウェア インストール パッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
3. インストール ウィザードが起動します。インストールの指示に従います。
  - a. アプリケーションをインストールするにはエンド ユーザ使用許諾契約を承認する必要があります。
  - b. アプリケーションはデフォルトの場所にインストールすることをお勧めします。
4. 一連の短い処理ステップがあります。処理を完了すると、iPassConnect を使用できるようになります。

## iPassConnect のアンインストール

iPassConnect をアンインストールするには、ローカルの管理者権限が必要です。

**iPassConnect をアンインストールするには:**

1. Windows のシステム トレイにあるアイコン  を右クリックし、[Exit (終了)] を選択します。
2. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順に選択します。
3. [プログラムの追加と削除] を選択します。
4. リストから [iPassConnect] を選択し、[追加と削除] をクリックします。
5. アンインストールの指示に従います。
6. [Finish (完了)] をクリックしてアンインストールを完了し、ウィザードを終了します。

## 以前のバージョンから iPassConnect 3.62 へのアップグレード

iPassConnect 3.30 より以前のリリースから iPassConnect 3.62 へアップグレードするには、ローカルの管理者権限が必要です。

バージョン 3.30 以降からバージョン 3.62 へアップグレードする場合は、管理者権限は不要です。

アップグレードが実施された後、あらゆるユーザ（パワー ユーザや制限付きユーザ）が 3.62 から新しいリリースへアップグレードできます。

## iPassConnect の使用

iPassConnect は、iPass ネットワーク、プライベート アクセス ポイント、さらにはユーザ定義可能なパーソナル アクセス ポイントを使用して、世界中の何千というアクセス ポイントに接続できるデスクトップ クライアントです。WLAN、モバイル データ、ダイヤルアップ、イーサネット、ISDN、DSL、GSM、PHS など、利用可能な接続タイプのいずれかを使用して、インターネットと社内リソースの両方に安全にアクセスできます。選択したアクセス ポイントにログインするためには有効な識別情報が必要になります。

企業によって有効な機能が異なるため、iPassConnect の実際の機能はここでの一般的な説明と異なる場合があります。iPassConnect 設定の仕様に関する詳細については、サポート ヘルプデスクにお問い合わせください。

### 利用可能なネットワーク

iPassConnect はローカル ブロードバンド ネットワークを自動的に検出し、簡単に接続できます。電話帳の [Available Networks (利用可能なネットワーク)] 一覧にはアクセス可能なイーサネット、WLAN、およびモバイル データ ネットワークが表示されます。

- ラップトップ コンピュータにイーサネット カードが装備されている場合、イーサネット ネットワークをコンピュータに接続すると、ネットワークは自動的に検出され、接続のために表示されます。
- ラップトップ コンピュータに WLAN カードが装備されている場合、ローカル ワイヤレス 無線 LAN について、エリアが自動的にスキャンされます。検出された無線 LAN が表示されるので、すばやく簡単にアクセスできます。
- モバイル データ カードとモバイル データ キャリアのアカウントを持っている場合、モバイル データ ネットワークのエリアが自動的にスキャンされます。

利用可能なネットワークを選択し、有効な識別情報でサインインするだけで接続されます。(iPass 対応ネットワークの場合は標準の iPass 識別情報を使用できます)

詳細については、「[自動検出](#)」を参照してください。

### 電話帳接続

iPassConnect はローカルで利用可能なネットワーク自動表示が可能だけでなく、電話帳と呼ばれる、グローバルなアクセス ポイントのディレクトリを含み、ダイヤルアップ、イーサネット、ISDN、DSL、GSM、および PHS アクセス ポイントの世界規模の一覧を提供します。電話帳を使用して、エリアのアクセス ポイントを地理的な近さや電話番号別にすばやく検索できます。iPassConnect は利用可能なアクセス ポイントを接続タイプ毎に表示するので、接続したいものを選択できます。アクセス ポイントの検索と接続の詳細については、「[検索のヒント](#)」を参照してください。

### パーソナル ネットワーク

パーソナル ネットワークを使用すると、iPass ネットワークに含まれておらず、そのための有効なログイン識別情報を持っているネットワーク アクセス ポイントにすばやく簡単に接続できます。た

たとえば、地元のカフェに頻繁に訪れ、お店の公衆無線 LAN を利用したい場合、その無線 LAN をパーソナル ネットワークの一覧に追加できます。詳細については、「[パーソナル ネットワーク](#)」を参照してください。パーソナル ネットワークに接続するために有効なログイン識別情報とセキュリティ キーが必要になることがあります。

## 統合ソリューション

iPassConnect は、VPN ソフトウェア、パーソナル ファイアウォール、アンチウイルス アプリケーションといった個別のサードパーティ製セキュリティ ソリューションと統合されます。これらの統合されたソリューションは iPassConnect と共に起動するので、アクセスは安全かつセキュアになります。この統合はヘルプ デスクにより設定されます。

- **オートコネクト統合:** オートコネクト統合では、iPassConnect アイコンをクリックすると、インターネットに接続する時にセキュリティ ソリューションも起動します。ユーザ側で操作する必要はありません。
- **オートローンチ統合:** オートローンチ統合では、インターネットに接続後、iPassConnect によって統合セキュリティ ソフトウェアが自動的に起動されます。ただし、iPass ネットワークへの接続に使用する識別情報に加えて、別のユーザ名およびパスワードの入力が必要になる場合があります。一般に VPN と組み合わせて使用する場合、VPN 識別情報は、[ログイン情報] ダイアログ ボックスで設定できます。
- **オートティアダウン:** オートティアダウン機能により、セキュリティ ソリューションが終了した場合にインターネット接続も自動的に安全に閉じられます。たとえば、パーソナル ファイアウォールの機能が停止した場合、iPassConnect は自動的に切断されます。
- **ホーム ブロードバンド:** ケーブル モデムや DSLなどを介して既にインターネットに接続しているホーム ブロードバンド ユーザは、iPassConnect を使用してインターネット上に統合ソリューションを起動できます。

iPassConnect をセキュリティ ソリューションと統合する設定方法の詳細については、ヘルプ デスクに問い合わせてください。

さらに、Web ブラウザや電子メール クライアントといった他のアプリケーションを自動的に起動するように、iPassConnect をカスタマイズできます。接続後の処理の詳細については、「[接続後のプログラム起動](#)」を参照してください。

## 拡張機能

多数の拡張機能が iPassConnect の接続動作を補完し、拡充します。こうした機能にはお気に入り、ソフトウェア アップデート、ダイヤルアップ拡張などがあります。iPassConnect 拡張機能の詳細については、「[追加機能](#)」を参照してください。

## セッ ト ア ッ プ

iPassConnect を使用する前に、ログイン情報や接続設定を入力し、必要に応じてパーソナル WLAN ネットワークの設定を行うなど、基本的な情報を iPassConnect に設定する必要があります。

### ログイン情報

iPassConnect には、ユーザのログイン識別情報が保存されるため、すばやく簡単にログインできます。通常は、iPassConnect を初めて使用する前に、これらの情報を入力するだけで済みます。

- パスワードは英数字 15 文字以下で設定してください。
- 代替の識別情報機能が有効な場合、ネットワーク接続のための識別情報が 2 セットあることとなります。
- 1 つはベアラ アクセス認証用です。
- もう 1 つは VPN アクセス認証用です。

注意: IT 管理者に問い合わせ、使用するプロファイルで代替の識別情報機能が有効になっているかどうかを確認する必要があります。

#### ログイン識別情報を設定するには:

1. [Settings (設定)] メニューで、[Login Information (ログイン情報)] を選択します。
2. [Internet Credentials (インターネット識別情報)] の下で、インターネット ユーザ名、ドメイン、およびパスワードを入力します。
3. インターネット パスワードを iPassConnect に保存したい場合は、[Save Password (パスワードの保存)] チェックボックスをオンにします。
4. 必要であれば、[Dept/Project (部門/プロジェクト)] に部門またはプロジェクトの名前を入力します。(この情報がログインに必要なかどうかをヘルプ デスクに確認してください。)
5. VPN を使用して社内のリソースに接続し、VPN 識別情報がインターネット識別情報と同じである場合は、[Same As Internet Credentials (インターネット識別情報と同じ)] チェックボックスをオンにします。次に、[NT Domain name (NT ドメイン名)] ボックスに NT ドメイン名を入力して、ステップ 5 に進みます。  
-または-  
VPN 識別情報がインターネット識別情報と異なる場合は、[Same As Internet Credentials (インターネット識別情報と同じ)] チェックボックスをオフにします。次に、VPN ユーザ名、NT ドメイン名、および VPN パスワードを入力します。
6. [Default Country (デフォルトの国)] ドロップダウン リストから、iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの [Country (国)] フィルタにデフォルト表示する国を選択します。
7. [OK] をクリックします。

## 代替の識別情報

この機能により、管理者はネットワークに接続するための、複数のエンド ユーザ識別情報を管理できます。代替の識別情報設定の詳細については、『*iPC 3.6 Administrator's Guide*』を参照してください。

注意: POP の接続中に代替の識別情報を求められるのは、config.ini ファイル内の属性 **UseAlternateAuthPolicy** が 1 または Yes に設定されている場合のみです。

iPassConnect は、管理者が選択した識別情報タイプに基づき、[Alternate credentials (代替の識別情報)] ダイアログ ボックスに関連フィールドを表示します。ベアラ アクセスおよび VPN アクセスでは以下のタイプの識別情報がサポートされています。

- [ユーザ名パスワード](#)
- [ユーザ名 PIN トークン](#)
- [証明書](#)

代替の識別情報を入力するには:

1. 接続したいアクセス ポイントを選択して、[Connect (接続)]をクリックします。  
[Login Information (ログイン情報)] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. iPassConnect を初めて使用する場合、インターネット識別情報を要求されます。
3. ベアラ アクセス認証に関連するタブにベアラ識別情報を入力します。

注意:nad.ini ファイル内の Bearer\_Cred\_Name 属性が null でない場合、ベアラ識別情報の入力を求められます。

4. VPN アクセス認証に関連するタブに VPN 識別情報を入力します。

注意:nad.ini ファイル内の VPN\_Required 属性が 1 または Yes に設定されている場合、ベアラ識別情報の入力を求められます。

5. [OK] をクリックします。

### ユーザ名パスワード

このタイプの識別情報は [Alternate Credentials (代替の識別情報)] 画面の以下のフィールドで構成されます。

- ユーザ名: ユーザ名を入力します。
- パスワード: 有効なパスワードを入力します。
- パスワードの保存: このオプションを選択した場合、新規接続が確立されるたびにパスワードを入力する必要がありません。

### ユーザ名 PIN トークン

このタイプの識別情報は [Alternate Credentials (代替の識別情報)] 画面の以下のフィールドで構成されます。

- ユーザ名: ユーザ名を入力します。
- PIN: 有効な PIN 値を入力します。
- トークン: 有効なトークン値を入力します。
- パスワードの保存: このオプションを選択した場合、新規接続が確立されるたびに PIN 値を入力する必要がありません。

### **EAP-TLS 証明書**

EAP-TLS は、ユーザ認証に電子証明書の交換を利用する、802.1X ベースの認証プロトコルです。EAP-TLS が有効な場合、ログインを実行する前に、こうした証明書に関する情報を設定しなければならない可能性があります。EAP-TLS 要件については、ヘルプ デスクに確認してください。

#### **証明書情報を設定するには:**

1. [Settings (設定)] メニューで [Login Information (ログイン情報)] を選択し、[Certificate (証明書)] タブをクリックします。
2. [User Certificate (ユーザ証明書)] の下で、ドロップダウン リストから証明書を選択します。
3. [Identity (識別子)] の下で、認証に使用される証明書の識別子タイプを選択します。次に、テキスト ボックスに実際の識別情報を入力します (たとえば、mobileuser@example.com など)。
4. 証明書情報を表示するには、[Info (情報)] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

## **パーソナル ネットワーク**

iPass 対応の無線 LAN で接続を試行すると、検出された無線 LAN に対し、WLAN 設定が自動的に行われます。しかし、iPass 対応以外の無線 LAN に接続する場合は、WLAN 接続を正しく設定する必要があります。設定済みかどうかに関わらず、検出されたすべての WLAN アクセス ポイントは [Available Networks (利用可能なネットワーク)] の下に一覧表示されます。

パーソナル ネットワークを使用すると、非 iPass 対応 アクセス ポイントへすばやく簡単に接続できます。たとえば、地元のカフェに頻繁に訪れ、お店の公衆無線 LAN を利用したい場合、その無線 LAN をパーソナル ネットワークとして追加できます。

パーソナル ネットワークに接続するために有効なログイン識別情報とセキュリティ キーが必要になることがあります。

#### **パーソナル WLAN ネットワークを追加するには:**

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] の下で、[Add (追加)] をクリックします。
3. [Add Personal Networks (パーソナル ネットワークの追加)] ダイアログ ボックスで、パーソナル ネットワークの SSID を入力します。または、[Scan (スキャン)] をクリックし

て iPassConnect が自動的にローカル SSID を検出するようにします。ネットワークが SSID をブロードキャストしない場合は、[Non-Broadcast (非ブロードキャスト)] を選択します。

1. [Security (セキュリティ)] の下で、ドロップダウン一覧からネットワークで使用されるセキュリティ モードを選択します。次に、[Key (キー)] にそのタイプのセキュリティ キーを入力します。
2. [OK] をクリックします。

**パーソナル ネットワークの設定を修正するには:**

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] の下で、編集したいネットワークを選択し、[Modify (修正)] をクリックします。
3. 必要に応じ設定を編集し、[OK] をクリックします。

**パーソナル ネットワークの設定を削除するには:**

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
2. [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] の下で、編集したいネットワークを選択し、[Delete (削除)] をクリックします。
3. [OK] をクリックします。

## モバイル データの設定

iPassConnect でモバイル データ接続が有効になっている場合は、接続を試みる前にモバイル データ設定を行う必要があります。

### 検索

iPassConnect は、次のいずれかが生じた際に、システムのモバイル データ カードを自動的に検索します。

- iPassConnect がコンピュータにインストールされたとき
- コンピュータにモバイル データ カードをインストールまたは挿入したとき

デバイスが検出されると、ユーザ識別情報などのそれぞれのカードに含まれる設定は自動的に記録され、接続を試行する際に使用されます。しかし、カードによっては、これらの設定を手動で検索させる必要があります。

モバイル データの設定を手動で検索するには、次の操作を行います。

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[Mobile Data (モバイル データ)] タブをクリックします。
2. [Refresh (更新)] をクリックします。モバイル データ デバイスが検索され、モバイル データ カードのすべての設定が記録されます。
3. [OK] をクリックします。

## 手動設定

場合によっては、iPassConnect が必要とする情報がカードにはすべて含まれておらず、正常に接続するためには一部の設定を手動で行う必要があります。詳細については IT 管理者に問い合わせてください。

### モバイル データの設定を編集するには:

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[Mobile Data (モバイル データ)] タブをクリックします。
2. 設定を変更する場合は、[Network Information (ネットワーク情報)] をクリックし、必要に応じて設定を編集します。詳細については、「ネットワーク情報」を参照してください。
3. ネットワーク選択タイプを変更する場合、ドロップダウン リストから必要なオプションを選択します。使用可能なセキュリティ モードは、
  - **自動:** モバイル データ ネットワーク タイプは SIM により選択されます。
  - **手動:** デバイスにより検出される、すべての使用可能なネットワークからモバイル データ ネットワークを選択する場合に、このオプションを選択します。
  - **優先:** オペレータのローミング パートナーの準備済みリストに存在する、使用可能なネットワークの一覧からモバイル データ ネットワークを選択する場合に、このオプションを選択します。
4. ベアラ タイプを変更する場合、ドロップダウン リストから必要なオプションを選択します。使用可能なオプションは、**自動**、**3G ネットワーク**、および **2G ネットワーク**です。デフォルト値は**自動**です。
5. [OK] をクリックします。

## ネットワーク情報

[Network Information (ネットワーク情報)] ダイアログを使用して、モバイル データ ネットワークの設定を指定できます。モバイル データ キャリアに応じて、キャリア ログイン識別情報も指定できます。または、モバイル データ識別情報が通常のログイン識別情報と同じである場合があります。

識別情報はモバイル データで接続するために使用する各カードについて設定されます。各カードについて設定した識別情報は記憶されるため、カードを取り外し、後で再度挿入した際、識別情報を再入力する必要はありません。

### ネットワークを設定するには:

1. [Connection Settings (接続の設定)] の [Mobile Data (モバイル データ)] タブで、[Network Information (ネットワーク情報)] をクリックします。
2. [Device (デバイス)]、[IMSI No (IMSI 番号)] (国際モバイル加入者識別番号)、および [Network Number (ネットワーク番号)] が表示されます。
3. [Network Configuration (ネットワーク設定)] の下で、[Access Point Name (アクセス ポイント名)] テキスト ボックスにアクセス ポイントの名前を入力します。

4. ネットワーク名、ダイヤル文字列、および DNS アドレスの詳細をそれぞれのテキスト ボックスに入力します。
5. カードのログイン識別情報を設定するには、[Carrier Credentials (キャリア ログイン情報)] の下の [Use Internet Credentials (インターネット ログイン情報を使用)] チェックボックスをオフにします。
6. [Carrier Username (キャリア ユーザ名)] と [Carrier Password (キャリア パスワード)] に識別情報を入力し、[OK] をクリックします。

iPassConnect 識別情報にキャリア ログイン識別情報を設定するには、次の操作を行います。[Same as Internet Credentials (インターネット識別情報と同じ)] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

7. モバイル データ カードのデフォルト設定を復元する場合は、[Restore Defaults (デフォルトの復元)] をクリックします。

これらのオプションの一部は有効でないことがあります。ログイン識別情報の詳細については、担当の IT 管理者にお問い合わせください。

## SIM セキュリティ管理

iPassConnect クライアントの設定によって、以下の作業を実行できる場合があります。

- PIN ロックされたカードのロックを解除する
- SIM カードのブロックを解除する
- PIN を無効化する
- PIN を変更する

**注意:** これらのオプションの一部は管理者の承認が必要なため、有効でないことがあります。詳細については担当の IT 管理者にお問い合わせください。

### PIN がロックされているカード

GPRS カードの PIN (個人暗証番号) がロックされている場合は、使用する前に解除する必要があります。自動的にロックされた状態でインストールされるカードもありますが、カードの識別情報を連続して 3 回誤って入力した場合にもカードがロックされることがあります。デバイスを挿入し、「ロック」が検出されると、PIN を入力するように求められます。

#### PIN ロックされたカードのロックを解除するには:

1. [PIN] メニューで、[Unlock (ロック解除)] をクリックします。
2. [Unlock SIM (SIM のロック解除)] ダイアログ ボックスに SIM カードの PIN を入力し、[OK] をクリックします。ロックが解除され、カードを使用できるようになります。
3. 間違った PIN コードを入力するとエラー メッセージが表示されます。

**注意:** PIN 入力の回数は制限されています。この制限は SIM プロバイダにより指定されます。

### ブロックされた SIM カード

間違った PIN を指定された回数入力した場合、SIM カードはブロックされます。カードのブロックを解除するには PUK (Personal Unlocking Key) が必要です。

**注意:** PIN 入力の回数は制限されています。この制限は SIM プロバイダにより指定されます。

#### SIM カードのブロックを解除するには:

1. [PIN (PIN)] メニューで、[Unlock (ブロック解除)] をクリックします。
2. [SIM PUK code (SIM PUK コード)] テキスト ボックスに正しい PUK を入力します。
3. [New PIN code (新しい PIN コード)] フィールドおよび [Confirm PIN code (PIN コードの確認)] フィールドに新しい PIN を入力して、[OK] をクリックします。ブロックが解除され、カードを使用できるようになります。
4. 間違った PUK コードを入力するとエラー メッセージが表示されます。

**注意:** 間違った PUK を連続して 10 回以上入力すると、SIM は永久にブロックされます。

### PIN の無効化

このオプションを使用して、SIM カードの PIN を無効にすることができます。

#### PIN を無効化するには:

1. [PIN] メニューで、[Disable (無効化)] をクリックします。
2. [Disable PIN (PIN の無効化)] ダイアログ ボックスに PIN を入力します。
3. [OK] をクリックします。

### PIN の変更

このオプションを使用して、SIM カードの PIN を変更することができます。

#### PIN を変更するには:

1. [PIN] メニューで、[Change (変更)] をクリックします。
2. [Change PIN (PIN の変更)] ダイアログ ボックスで、関連するフィールドに、古い PIN と新しい PIN を入力します。
3. [OK] をクリックします。

### ダイヤルのプロパティ

ダイヤルのプロパティは、外線発信を行ったりキャッチホン機能を無効にするために必要な番号など、ダイヤルアップ接続に必要な設定です。ダイヤルアップ ユーザ (モデム、PHS、GSM、および ISDN 接続) の場合は、ダイヤルのプロパティを正しく設定することが重要です。(イーサネットや WLAN のようなブロードバンド接続を使用する場合は、ダイヤルのプロパティを設定する必要はありません)。

ダイヤル文字列とは、ダイヤルする電話番号に、ダイヤルのプロパティによって設定される番号を追加したものです。アクセス ポイントが異なっていると、ダイヤルのプロパティも異なる場合があります。たとえば 555-1212 という市内番号にダイヤルするときに、外線発信を行うための 9 とキャッチホン機能を無効にするための \*70 をダイヤルする必要がある場合、ダイヤル文字列は「9, \*70, 555 1212」になります。

#### ダイヤル プロパティを設定するには:

1. [iPassConnect] ダイアログ ボックスで、[Dial Properties (ダイヤルのプロパティ)] をクリックします。
2. [General (全般)] の下にある [To access outside line (外線発信番号)] テキスト ボックスに、外線発信に必要なダイヤル番号 (9 など) を入力します。
3. キャッチホン機能を無効にしたい場合は、[To disable Call Waiting dial (キャッチホン機能を無効)] ボックスで、ドロップダウン リストから必要な文字を選択します。
4. [Dial Using (ダイヤル方法)] で、電話システムがトーン ダイヤルを使用するのかパルスダイヤルを使用するのかを選択します。(ほとんどの電話システムはトーン ダイヤルを使用します。)
5. [Dialing From Location (現在の所在地)] が接続先と同じ場合は、[Same Location (同じ市内)] チェックボックスをオンにし、ステップ 6 に進みます。

—または—

[Dialing From Location (現在の所在地)] が接続先と異なる場合は、[Same Location (同じ市内)] チェックボックスをオフにします。次に、次の操作を行います。

- [Country (国)] ドロップダウン リストから、発信元の国を選択します。
  - [Area Code (市外局番)] に、ダイヤルしたい市外局番を入力します。
  - [市外局番の指定方法] ドロップダウン リストで、所在地のダイヤル方法 (市外局番の前に 1 をダイヤルするなど) を反映した指定方法を選択します。
  - ステップ 6 に進みます。
6. 通話カードを使用してダイヤルする場合は、[Calling Card (通話カード)] の下の [Use calling card (通話カードを使用)] チェックボックスをオンにします。詳細については、「[通話カードの使用](#)」を参照してください。
  7. [OK] をクリックします。
  8. iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの下部にある [Dial Properties (ダイヤルのプロパティ)] ボタンの横に、完全なダイヤル文字列が表示されます。

## DSL の設定

DSL 接続を使用する前に、DSL ログイン識別情報の設定が必要な場合があります。これらの識別情報を設定する必要があるかどうかを、インターネット プロバイダに確認してください。

#### DSL の設定を行うには:

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[DSL] タブをクリックします。

2. 次のいずれかの操作を実行します。
  - a. DSL ネットワーク識別情報が識別情報と同じである場合は、[Same as Internet Credentials (インターネット識別情報と同じ)] チェックボックスをオンにします。次に、必要に応じて [Service Name (サービス名)] に DSL サービスの名前を入力します。
  - b. キャリアのネットワークへのログインに別の DSL 識別情報を使用する場合は、[Carrier Username (キャリア ユーザ名)] と [Carrier Password (キャリア パスワード)] に ネットワーク ユーザ名とパスワードを入力します。次に、必要に応じて [Service Name (サービス名)] に DSL サービスの名前を入力します。
3. [OK] をクリックします。

## ISDN 接続の設定

[Connection Settings (接続の設定)] の [ISDN] タブでは、ISDN 接続の設定を行えます。

1. [Device (デバイス)] の下に、デフォルトの ISDN モデム デバイスが表示されます。別のデバイスを使用して接続したい場合は、ドロップダウン リストから選択します。
2. [Redial Settings (再試行の設定)] の下で、話し中の場合の再試行の設定を行います。
3. スマートリダイヤル機能を有効にしたい場合は、[Smart Redial (スマートリダイヤル)] にチェックマークを付けます。
4. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

## GSM 接続の設定

[Connection Settings (接続の設定)] の [GSM] タブでは、GSM 接続の設定を行えます。

1. [Device (デバイス)] の下に、デフォルトの GSM モデム デバイスが表示されます。別のデバイスを使用して接続したい場合は、ドロップダウン リストから選択します。
2. [Redial Settings (再試行の設定)] の下で、話し中の場合の再試行の設定を行います。
3. スマートリダイヤル機能を有効にしたい場合は、[Smart Redial (スマートリダイヤル)] にチェックマークを付けます。
4. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

## イーサネットの設定

一部のネットワーク接続では、接続時に使用するイーサネット デバイスを指定する必要があります。(コンピュータにイーサネット デバイスが 1 つしかない場合は、そのデバイスがデフォルトで選択されます)

**イーサネット デバイスを指定するには:**

1. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[Ethernet (イーサネット)] タブをクリックします。
2. [Device (デバイス)] の下で、ドロップダウン一覧からイーサネット デバイスを選択し、[OK] をクリックします。

## 接続と切断

このセクションでは、ネットワーク自動検出、接続、切断を含む、接続手順について概要を説明します。

### 自動検出

コンピュータに正しいハードウェアが装備されている場合、iPassConnect はイーサネット接続、ローカル無線 LAN、およびモバイル データ ワイヤレス ネットワークを自動的に検出し、表示します。自動検出は探知と呼ばれることもあります。

自動検出されたネットワークにアクセスするには通常、有効なログイン識別情報が必要です。ネットワークが iPass 対応の場合、iPassConnect 識別情報がアクセスを付与します。その他のネットワークでは異なる識別情報が必要です。

### イーサネット


ラップトップ コンピュータにイーサネット カードが装備されている場合、イーサネット ネットワークをコンピュータに接続すると、ネットワークは自動的に検出され、接続のために表示されます。各イーサネット接続は、必要な認証により、以下の 4 つのタイプのいずれかで表示されます。

- **iPass:**イーサネット接続は iPass ネットワークの一部です。接続するためには iPassConnect 識別情報が必要です。
- **認証必須:** 接続は *Walled Garden* 環境の一部で、Web のコンテンツおよびサービスに対するユーザのアクセスは制御されます。識別情報なしで Web サービスの一部にアクセスできることがあります。通常、完全なアクセスを取得するためには有効なログイン識別情報が必要です。
- **802.1X:**アクセスは 802.1X 接続を通じて行われ、アクセスを取得するためには有効なログイン識別情報が必要です。
- **オープン:** 認証は不要で、自動的に接続されます。

接続先のイーサネット アクセス タイプを正確に区別しなければならないことがあります。iPassConnect が識別を行っている間には「識別中」と表示され、識別が済み次第正しい表示に切り替わります。

### WLAN

コンピュータに WLAN カードがインストールされている場合、近くの無線 LAN が自動的に検出されます。検出された無線 LAN は電話帳の [**Available Networks** (利用可能なネットワーク)] の下に信号強度の順に表示されます。

iPass アクセス ポイントは  アイコンで区別されます。iPass に対応した無線 LAN の自動検出により、SSID や WEP キーなど、WLAN 設定が自動的に構成されます。WLAN 設定を手動で構成する必要があるのは、iPass 以外の無線 LAN を使用する場合だけです。詳細については、「[パーソナル ネットワーク](#)」を参照してください。







## モバイル データ

モバイル データ接続が有効で、モバイル データ カードがインストールされている場合、ローカルモバイル データ ネットワークが検出され、[Available Networks (利用可能なネットワーク)] に表示されます。

モバイル データ ネットワークに接続するために必要な設定は、通常、モバイル データ カードがインストールされ、キャリアのネットワークでアカウントが有効となる際に行われます。しかし、一部のカードでは追加設定が必要な場合もあります。詳細については、「[モバイル データの設定](#)」を参照してください。

## ネットワーク情報

電話帳には自動検出された各ネットワークに関する情報が表示されます。

アイコン	名前	説明
	電話帳	ネットワーク アイコンは、このアクセス ポイントがネットワーク電話帳に含まれることを示します。
	信号強度計	信号強度計はワイヤレス信号の強さを示す多数のバーを表示します。(イーサネット接続の場合、常にすべてのバーが表示されます。)
	セキュア	鍵アイコンはアクセス ポイントが WEP などのプロトコルによりセキュアになっており、接続するためには有効な識別情報が必要であることを示します。
	情報	このアイコンをクリックすると、アクセス ポイントに関する情報が表示されます。詳細については、「 <a href="#">POP の詳細</a> 」を参照してください。
	自動接続	ネットワークはオートコネクションの優先ネットワークです。詳細については、「 <a href="#">ワイヤレス オートコネクション</a> 」を参照してください。このアイコンは [Connection Settings (接続の設定)] ダイアログ ボックスの WLAN パーソナル ネットワーク オプションの下にのみ表示されます。
	お気に入り	このサービスはメニューおよびシステム トレイからすばやくアクセスできるようにブックマークされています。

## 接続

接続するには:

3. **接続の選択:** 接続を見つけるために以下のいずれかを選択します。
  - c. **利用可能なネットワークを使用:** ローカル ブロードバンド ネットワークが自動検出されており、そのどれかに接続したい場合、接続先ネットワークの名前をクリックし、ステップ 5 に進みます。  
利用可能なネットワークが一覧に表示されない場合は、ステップ 1b に進んで近くのアクセス ポイントを所在地で検索するか、または米国内の場合、ステップ 1c に進んで近くのアクセス ポイントを電話番号で検索します。

または

- a. **所在地で検索:** [Search by Location or Phone Number (所在地または電話番号で検索)] の下で、使用するフィルタ基準をドロップダウン リストから選択します。各フィルタ基準により、アクセス ポイントの検索範囲が特定の所在地へ絞り込まれます。必要に応じて、検索範囲を広げたり狭めたりできます。たとえば、国内のすべてのアクセス ポイントを表示するには、[Country (国)] ドロップダウン リストからその国を選択します。

- 検索範囲をその国の特定の州または都道府県に狭めるには、[State/Province (州/都道府県)] ドロップダウン リストから該当する州または都道府県を選択します。(一部の国では、州または都道府県による検索は使用できません)。
- 検索を特定の市町村にさらに狭めるには、[City (市町村)] ドロップダウン リストから市町村を選択します。所在地の基準を入力し、ステップ 2 に進みます。

**または**

- b. **番号で検索:** もう 1 つの方法として、米国内のダイヤルアップ アクセス ポイントを検索する場合は、[Country (国)] ドロップダウン リストから [United States (米国)] を選択します。次に、[Enter a local phone number (電話番号を入力)] の下にある [Area Code (市外局番)] および [Phone Number (電話番号)] テキスト ボックスに、所在地の市外局番と市内局番 (最初の 3 桁) を入力します。

**または**

- c. **キーワードで検索:** 指定されたキーワードを含む、ブロードバンド アクセス ポイントを検索できます。たとえば、San についてキーワード検索を行うと、San Francisco、San Mateo、San Diego、およびキーワードに一致するその他の場所にある、すべてのアクセス ポイントが表示されます。[Keyword (キーワード)] フィールドに必要なキーワードを入力し、ステップ 2 に進みます。

4. **検索:** [Find (検索)] をクリックします。検索条件に一致するアクセス ポイントが電話帳に表示されます。
5. **接続タイプの選択:** 電話帳内で、アクセス ポイントの数が接続タイプごとに表示されます。たとえば [Modem (25) (モデム (25))] は、モデム接続に使用できるアクセス ポイントが 25 か所あることを示します。接続タイプの横にある右矢印 ▶ をクリックすると、各所在地が表示されます。
6. **アクセス ポイントの表示:** ステップ 1 で所在地によって検索を行った場合、接続タイプの下に展開されたリストには、一連の所在地と、各所在地にある当該タイプのアクセス ポイントの数が表示されます。たとえば、[Modem (25) (モデム (25))] の下に [Townsville (5)] と表示されている場合は、Townsville に 5 つのモデム アクセス ポイントがあることを示しています。右矢印をクリックすると、リストがさらに展開されて各アクセス ポイントが表示されます。(ステップ 1 で番号によって検索を行った場合には、所在地名は表示されませんが、すべての電話番号が表示されます)。
7. **アクセス ポイントの選択:** アクセス ポイントのリストから、接続したいアクセス ポイントをクリックします。
8. **接続:** [Connect (接続)] をクリックします。iPass ネットワークに接続されます。(ユーザ識別情報の入力、または接続先 VPN ゲートウェイの入力を要求される場合があります)。


## 検索のヒント

- **検索の更新:** 検索条件を変更して新しいアクセス ポイントを探す場合は、[Find (検索)] をクリックすると電話帳内に表示されているアクセス ポイントが更新されます。
- **検索条件の保存:** 最後に指定した検索条件は iPassConnect を終了したときに保存され、ユーザが次回に iPassConnect を起動したときに表示されます。検索を最初からやり直す場合は、[Clear (クリア)] をクリックし、ステップ 1 に戻ります。
- **フリーダイヤル番号:** 米国で番号で検索する場合、800 を入力すると、フリーダイヤルである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属する市内アクセス ポイントを検索できます。

## 切断

iPassConnect に接続されたシステムが保留状態 (スタンバイまたはハイバーネーション) になると、iPassConnect はセッションを切断します。システムが完全に再開した後で、新しい接続を開始できます。

切断するには:

1. Windows のシステム トレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [Disconnect (切断)] を選択します。iPass ネットワークから切断されます。iPassConnect は Windows のシステム トレイで実行され続けます。
3. もう一つの方法として、[Disconnect and Exit (切断して終了)] を選択すると、iPass ネットワークから切断され、アプリケーションが終了されます。

*iPass* ネットワークから切断しても *iPassConnect* クライアントはバックグラウンドで常駐しているので、*Windows* のシステム トレイを使用してクライアントにアクセスできます。

## iPassConnect の終了

iPassConnect を終了すると、完全に終了して、システム トレイで実行されません。

**iPassConnect を終了するには、次の手順に従います。**

1. Windows のシステム トレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [Exit (終了)] を選択します。

## POP の詳細


POP (Point of Presence) は、アクセス ポイントを表す別の用語です。表示できる POP の詳細には、以下のものがあります。

- **所在地:** POP の所在地
- **住所:** サイトの物理アドレス
- **電話番号:** サイトと通信するための電話番号
- **最大速度:** ダイヤルアップ POP の場合

- 接続料金：時間あたりの接続料金（分かる場合）
- POP タイプ：このアクセス ポイントで可能な接続タイプ
- SSID（サービス セット識別子）：WLAN POP 用
- 信号強度：WLAN POP 用


POP に関して表示される情報は、電話帳とアクセス ポイントのタイプにより異なることに注意してください。

**POP の詳細を表示するには：**

1. 通常どおり、アクセス ポイントを検索します。
2. 電話帳内の、その POP に属する行の [Info（情報）] 列で、 アイコンをクリックします。
3. 確認をしたら、[OK] をクリックします。

**システム トレイのアイコン**

以下の操作を行うには…	 アイコンを右クリックし、以下を選択
iPassConnect を開く（まだ接続されていない場合）	[Open iPassConnect（ を開く）]
iPassConnect を終了する（その後、インターネットから切断する）	終了
iPass ネットワークに接続する	接続
お気に入りに接続する	お気に入りの名前
iPassConnect を更新する	更新
iPass ネットワークから切断する	切断
iPass ネットワークから切断してアプリケーションを終了する	[Disconnect and Exit（切断して終了）]

iPassConnect が実行されているときは、Windows タスクバーの右側のシステム トレイに iPassConnect アイコン  が表示されます。このアイコンを使用して、プログラムの様々な機能を実行できます。

## 拡張機能

iPassConnect には、接続処理を拡張できる様々な追加機能があります。

こうした機能の一部はすべての iPassConnect ユーザ向けに設定されていません。ご使用の iPassConnect のエンタープライズバージョンにおける有効な機能の詳細についてはヘルプデスクにお問い合わせください。

### My iPass

**My iPass** 情報ポータルには iPass ネットワーク、iPass 製品およびサービスに関する最新のニュースと情報のほか、詳細な情報への便利なリンクが含まれています。**マイ iPass** は以下のアクセスポイントのいずれかに接続すると表示されます。

- iPass ネットワーク アクセス ポイント
- パーソナル Wi-Fi
- モバイル データ
- ホーム ブロードバンド
- オープン イーサネット
- 非 iPass Walled Garden イーサネットおよび DSL

必要に応じて、任意のリンクをクリックしてさらに探索したり、情報ポータルを閉じることができます。

### iPassConnect の更新

#### 自動更新

iPassConnect は、ソフトウェアおよび電話帳の利用可能な更新があるかどうか一定の間隔で自動的に確認します。利用可能な更新がある場合、その更新をダウンロードしてインストールするように求められます。最大 15 日間、更新を保留することも選択できます。その期間が終了すると、iPassConnect は自動的に更新を行います。

#### 手動更新

iPassConnect を手動で更新することにより、最新の電話帳とソフトウェアを入手できます。更新を行うには、インターネットに接続する必要があります。更新が完了したら、変更内容を反映させるために、iPassConnect を再起動する必要があります。

**iPassConnect ソフトウェアまたは電話帳を更新するには:**

1. iPassConnect を使用してインターネットに接続します。
2. [Settings (設定)] メニューで、[Software Update (ソフトウェアの更新)] を選択します。  
[Software Update (ソフトウェアの更新)] の横に、その項目が最後に更新された日時が表示されます。たとえば、[Software Update (Thu Feb 13 2004 09:00:00) (ソフトウェア更

新 (Thu Feb 13 2004 09:00:00)) は、前回の更新が 2004 年 2 月 13 日 (木) の午前 9 時に行われたことを示しています。

3. iPassConnect は更新サーバに問い合わせ、最新の更新をダウンロードしてインストールします。
4. 画面の指示に従って、更新ソフトウェアをインストールします。


## お気に入り

[Bookmarks (お気に入り)] メニューでは、頻繁に使用するアクセス ポイントの接続情報を、簡単に保存および再使用できます。

ダイヤルアップ接続の場合、市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセス ポイントをお気に入りに追加できます。これにより、その市町村への接続には、このお気に入りを使用することができます。詳細については、「[市町村レベルでの接続](#)」を参照してください。

### アクセス ポイントをお気に入りに追加する

アクセス ポイントをお気に入りに追加するには:

1. 通常どおり、アクセス ポイントを選択します。
2. アクセス ポイントを選択し、[Add Bookmark (お気に入りに追加)] ボタンをクリックします。
3. [Add Bookmark (お気に入りに追加)] ダイアログ ボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入りに追加したアクセス ポイントのダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳では、 という記号によって、アクセス ポイントがお気に入りに追加されたことが示されます。

モバイル データ ネットワーク接続をお気に入りに追加することはできません。

### 既存のお気に入りを使用して接続する

既存のお気に入りを使用して接続するには:

1. [Bookmarks (お気に入り)] メニューで、使用したいアクセス ポイントを選択します。
2. お気に入りの単一のアクセス ポイントである場合、iPassConnect はそのアクセス ポイントへの接続を試みます。お気に入りの市町村である場合、iPassConnect は接続が確立されるまで、その市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセス ポイントにダイヤルします。詳細については、「[市町村レベルでの接続](#)」を参照してください。

iPass ネットワークは常に成長発展しているため、既に廃止されたアクセス ポイントがお気に入りに表示されることがあります。お気に入りに表示されている無効になったアクセス ポイントに接続を試行すると、iPassConnect はその所在地と同じ所在地および接続タイプのアクセス ポイントを探し、接続できるようにします。このとき、新しいアクセス ポイントを古いものと置き換えて、お気に入りとして登録することもできます。

### お気に入りを修正する

お気に入りを修正するには:

4. [Bookmarks (お気に入り)] メニューで、[Edit Bookmark (お気に入りの編集)] をクリックします。
5. [Edit Bookmark (お気に入りの編集)] ダイアログ ボックスで、編集したいお気に入りを選択し、[Modify (修正)] をクリックします。
6. [Modify Bookmark (お気に入りの修正)] ダイアログ ボックスで、必要に応じて新規情報や改訂情報を入力します。
7. [OK] をクリックし、次に [Edit Bookmark (お気に入りの編集)] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

### お気に入りを削除する

お気に入りを削除するには:

1. [Bookmarks (お気に入り)] メニューで、[Edit Bookmark (お気に入りの編集)] をクリックします。
2. [Edit Bookmark (お気に入りの編集)] ダイアログ ボックスで、削除したいお気に入りを選択し、[Delete (削除)] をクリックします。
3. [Yes (はい)] をクリックして削除を確認します。

## ホーム ブロードバンド接続

iPassConnect を使用すると、DSL、ケーブル モデム、WLAN ルータなど、既存のブロードバンド インターネット接続を利用して iPass ネットワークに接続することができます。この場合、ブロードバンド接続が既に確立されているため、iPassConnect はインターネットに接続しません。ただし、iPassConnect によって、VPN やパーソナル ファイアウォールなどのその他の統合アプリケーションが起動します。この接続形態はホーム ブロードバンド接続とも呼ばれますが、オフィスの LAN 接続など、既存のインターネット接続もその範疇に含まれます。

たとえば在宅勤務者は、自宅のケーブル モデムから仕事用のラップトップ コンピュータを使用してインターネットに接続することができます。iPassConnect を起動し、ホーム ブロードバンド機能を使用すると、統合された VPN クライアントとパーソナル ファイアウォールも起動され、社内リソースに安全に接続できるようになります。

ホーム ブロードバンドを使用して接続するには:

8. DSL モデムなどのブロードバンド接続が既にインターネットに接続されていることを確認します。
9. コンピュータをブロードバンド接続に接続します。たとえば、WLAN カードを使用して、WLAN ルータにアソシエートできます。手順については、ブロードバンド接続のマニュアルを参照してください。インターネットに接続されます。
10. iPassConnect を起動します。
11. 電話帳内で、[Home Broadband (ホーム ブロードバンド)] の下の [Use Existing Internet Connection (既存のインターネット接続を使用)] をクリックします。

12. 通常のように、iPass 識別情報を使用して、iPass ネットワークにログインします。iPassConnect によって、VPN と iPassConnect に統合されているアプリケーションが起動されます。

ホーム ブロードバンド接続を切断するには、システム トレイにあるアイコンを右クリックし、[Disconnect (切断)] を選択します。

## 接続後のプログラム起動

iPass ネットワークへ接続した後に自動的に他のプログラムを起動するように、iPassConnect を設定できます。たとえば、Web ブラウザやその他のプログラム（電子メール クライアントなど）を起動一覧に追加することにより、それらのプログラムを起動できます。

### 接続後にコンピュータのデフォルトの Web ブラウザを起動するには:

13. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
14. [General (全般)] タブをクリックします。
15. [After Connecting (接続後)] の下の、[Default Web Browser (標準の Web ブラウザ)] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

### 接続後に他のプログラムを起動するには:

16. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
17. [General (全般)] タブをクリックします。
18. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、[追加] をクリックします。
19. [Add/Edit Post-Connection Program (接続完了後プログラムの追加/編集)] ダイアログ ボックスの [Location (所在地)] の下で [Browse (ブラウズ)] をクリックします。
20. 接続完了後に起動するプログラムへブラウズし、[Open (開く)] をクリックします。
21. [Description (説明)] フィールドに実行するプログラムの説明を入力します。たとえば、接続後に電子メール プログラムを起動する場合は、「My E-mail」などと入力します。
22. その他のプログラムを起動したい場合は、ステップ 3 ~ 6 を繰り返して希望のプログラムを一覧に追加していきます（必要に応じて、後でプログラムを追加することもできます）。
23. 確認をしたら、[OK] をクリックします。

### 起動するプログラムのリスト内のエントリを修正するには:

1. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
2. [General (全般)] タブをクリックします。
3. [After Connecting (接続後)] の下の [Launch Programs (プログラムの起動)] で、変更したいプログラムの名前を選択し、[Modify (修正)] をクリックします。
4. [Add/Edit Post-Connection Program (接続完了後プログラムの追加/編集)] ダイアログ ボックスで、訂正した説明を入力するか、またはプログラムの新しい場所へブラウズします。
5. [OK] をクリックします。

### リストからプログラムを削除するには:

1. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
2. [General (全般)] タブをクリックします。
3. [After Connecting (接続後)] の下の [Launch Programs (プログラムの起動)] で、自動的に起動するプログラムの一覧から削除するプログラムを選択します。
4. [Delete (削除)] をクリックします。(この手順でプログラムがコンピュータから削除されることはありません。自動的に起動するプログラムの一覧から削除されるだけです)。
5. [OK] をクリックします。

## ダイヤルアップ拡張機能

以下の機能は、ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、または ISDN) 接続にのみ適用されます。

### スマートリダイヤル

ダイヤルアップ接続にスマートリダイヤル機能を使用すると、iPassConnect は、接続に成功するまで同じ市内のすべてのアクセス ポイントに自動的にダイヤルし続けます。

スマートリダイヤル機能を有効にするには、次の操作を行います。

1. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[Dial-up (ダイヤルアップ)] タブ (モデム、PHS、または GSM 接続の場合)、または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [Redial Settings (再試行の設定)] の下にある [Smart Redial (スマートリダイヤル)] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

ほとんどの場合、スマートリダイヤルはデフォルトで有効になります。可能な場合にはスマートリダイヤルをオンにして、ダイヤルアップ接続の操作を簡単にするをお勧めします。

### 話し中の場合の再試行

ダイヤルアップ接続に使用される話し中の場合の再試行機能では、接続に失敗したときに、話し中だったアクセス ポイントに再度ダイヤルするように設定できます。この機能は、お気に入りに指定したアクセス ポイントを使用するとき、またはアクセス ポイントが少なく、インターネット トラフィックが多い環境でローミングする場合に便利です。

話し中だったアクセス ポイントに再度ダイヤルするには:

1. [Settings (設定)] メニューの [Connection Settings (接続の設定)] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[Dialup (ダイヤルアップ)] タブ (モデム、GSM、および PHS 接続の場合) または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [Redial Settings (再試行の設定)] の下で、[Redial Attempts (ダイヤル試行回数)] テキスト ボックスに接続試行の回数を入力します。

4. [Redial if not connected within (ダイヤル後に接続完了を待つ時間)] テキスト ボックスで、ダイヤル間の待ち時間を秒単位で指定します。ここでは、各ダイヤル試行の完了までにかかる時間を見込んで 120 秒以上の値を設定します。
5. [OK] をクリックします。

スマートリダイヤル機能は、iPassConnect が、接続試行に失敗したときに次のアクセス ポイントに進むので、この話し中の場合の再試行機能とは矛盾することがあります。可能な場合には、信頼性を高めるために、スマートリダイヤルを優先させてください。

### 市町村レベルでの接続

ダイヤルアップ接続 (モデム、PHS、GSM、または ISDN) を使用する場合、iPass ネットワークに接続するために個々のアクセス ポイントを選択する必要はありません。その代わりに、接続に成功するまで、自動的に市町村内の一連のアクセス ポイントへ順番に接続を試みることができます。これは、特定のアクセス ポイントを指定する必要がなく、単に近くのアクセス ポイントに接続したい場合に役立ちます。


ダイヤルのプロパティは、市町村レベルで設定することもできます。詳細については、「[ダイヤルのプロパティ](#)」を参照してください。

企業によっては、個々のアクセス ポイントへのダイヤルを無効にし、市町村レベルのダイヤルのみを有効にしています。詳細については、ヘルプ デスクに確認してください。

#### 市町村レベルで接続するには:

1. 通常どおり、所在地か電話番号でアクセス ポイントを選択します。
2. [Modem (モデム)]、[PHS]、[GSM] または [ISDN] の下で、接続したい市町村名をダブルクリックします。iPassConnect によって、その市町村内の最適なアクセス ポイントにダイヤルが試行されます。
3. スマートリダイヤルがオンになっているときに最初のアクセス ポイントへの接続に失敗した場合、iPassConnect は接続に成功するまでその市町村内の他のアクセス ポイントにダイヤルします。スマートリダイヤルがオンになっていないときに接続に失敗した場合、iPassConnect は「話し中の場合の再試行」に記載されている設定に基づいて、最初のアクセス ポイントに再度ダイヤルします。

#### 市町村をお気に入り追加するには:

1. 通常どおり、国と市町村を選択します。
2. [Modem (モデム)] の下で、[ISDN] を選択します。[GSM] または [PHS] の下で市町村の名前をクリックし、[Add Bookmark (お気に入り追加)] ボタンをクリックします。
3. [Add Bookmark (お気に入り追加)] ダイアログ ボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入り追加する接続のダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳内で、 というリボン記号によって、市町村がお気に入り追加されたことが示されます。

## 通話カードの使用

ダイヤルアップ接続に通話カードを使用する場合は、単一の通話カードの情報を iPassConnect に保存できます。

通話カードの情報を保存するには:

1. iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスで、通常どおりアクセス ポイントを指定し、[Dial Properties (ダイヤルのプロパティ)] をクリックします。
2. [Calling Card (通話カード)] の下で、[Use Calling Card (通話カードの使用)] チェックボックスを選択します。
3. [Calling Card (通話カード)] ボタンをクリックします。
4. [Calling Card (通話カード)] ダイアログ ボックスの [Dial Sequence (ダイヤルの方法)] に、通話カードでダイヤルする電話番号と、この表に示された適切なコード記号を入力します。通話カードに記されている形式に従っている限り、どのような記号と番号の組み合わせでも入力できます。たとえば、通話カードに、「1 800 555 5050 + PIN + 市外局番 + 電話番号の順にダイヤルする」と記載されている場合、ダイヤルの方法は、「1 800 555 5050 HFG」などとなります。**注意:** iPassConnect で使用可能な記号の一覧を表示するには、[Symbols (記号)] ボタンをクリックします。
5. [PIN] に、通話カードの個人 ID 番号を入力します。
6. [OK] をクリックします。
7. [Edit Bookmark (お気に入りの編集)] ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。

記号	意味
E	国コード
F	市外局番
G	電話番号
H	通話カードの PIN
P	パルス方式でダイヤルする
T	トーン方式でダイヤルする
W	二次発信音を待つ
,	ポーズ (約 1 秒間)
!	フラッシュ
@	無音状態を待つ
\$	通話カードの入力待ち信号音を待つ
?	ユーザ入力を待つ

## Windows ライブ ログオン

ライブ ログオンを使用して、現在、社内ネットワークに直接接続されていないコンピュータから社内ドメインにログオンできます。iPassConnect は、まずインターネットに接続し、社内ドメインにログインするための認証を提供することにより、ログイン処理の仲介を行います。したがって、デバイスがあたかも社内ネットワークに接続されているかのように、コンピュータから社内ドメインにログインできます。

ライブ ログオンは、ネットワーク接続が必要な起動サービスを、コンピュータ上でファイルサーバやポリシー サーバへのアクセスなど、ログイン処理の一部として実行する必要がある場合に使用できます。

企業でライブ ログオンが有効な場合、別のログイン方法でコンピュータにログインする必要があります。

1. **Ctrl + Alt + Del** を押してログイン処理を開始します。
2. [Log In to Windows (Windows へログオン)] ダイアログ ボックスでユーザ名とパスワードを入力します。[Log On To (ログオン先)] のドロップダウン リストからドメインを選択します。[OK] をクリックします。

3. iPassConnect で、電話帳から接続を選択し、[Connect (接続)] をクリックします。  
社内ドメインにログインします。

## ワイヤレス オートコネクション

ワイヤレス オートコネクションが有効な場合、優先するワイヤレス アクセス ポイントのリストに対して、繰り返しサインインすることなく、WLAN 接続が自動作成されます。オートコネクションは WLAN が普及しているローカル キャンパスの無線 LAN のセットに使用されます。ユーザはキャンパス上を動き回ることが可能で、繰り返しログインしなくても、ワイヤレス アクセスを通じて接続を維持できます。

複数のネットワークについてオートコネクションが有効な場合、iPassConnect はまず電話帳に記載されているアクセス ポイントへの接続を試行し、次に任意のパーソナル ネットワークを信号強度の順に接続試行します。

**オートコネクションを有効にし、接続用の優先ネットワークを選択するには:**

24. [Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[WLAN] タブをクリックします。
25. [Automatically connect to preferred networks (優先するネットワークに自動接続する)] を選択します。
26. パーソナル ネットワーク リストに、追加したパーソナル ネットワークを含む、すべての WLAN ネットワークを表示するには、[すべての WLAN ネットワークを表示する] を選択します。(これにより、自動検出されたネットワークと電話帳の [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] リストのネットワークを選択できるようになります)
27. [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] の下で、表示されているネットワークの 1 つを選択し、[Modify (修正)] をクリックします。
28. [Modify Personal Network (パーソナル ネットワークの修正)] ダイアログ ボックスで、[Auto-connect to this SSID (この SSID に自動接続する)] を選択します。
29. [OK] をクリックします。[パーソナル ネットワーク] リストに、選択したネットワークとオートコネクション アイコンが表示されます。
30. [Personal Networks (パーソナル ネットワーク)] リストから、オートコネクション用のネットワークをさらに選択するか、[OK] をクリックして完了します。

## ログオフ オン コネクト

ログオフ オン コネクトは、Nortel Contivity VPN クライアントと統合されたクライアントで設定可能です。これによって、Nortel VPN クライアントを使用し、インターネットとローカル システムへと安全にログインすることができます。ご使用の環境でログオフ オン コネクトが有効になっているかどうかについては、ヘルプ デスクに確認してください。

**ログオフ オン コネクトを使用するには:**

1. Windows ログイン画面で、通常どおりコンピュータにログインします。

2. **iPassConnect** を使用して接続します。iPassConnect がインターネットに接続し、Nortel VPN クライアントを起動します。iPass ネットワークのための認証が行われます。認証に成功すると、Contivity VPN によってローカル コンピュータからはログオフされますが、インターネットと社内 LAN への接続は維持されます。
3. 再度ログインします。Windows ログイン画面が、再度表示されます。**Ctrl + Alt + Del** を押してログインし、ログイン識別情報を入力します。この後続のログインでは、Nortel VPN の接続上で、ドメイン コントローラによって認証が行われます。これにより、ローカル システム、社内の LAN、およびインターネットに接続されます。iPassConnect は通常どおり、Windows のシステム トレイに表示されます。

# サポート

このセクションでは技術支援を必要とする際に役立つ機能について説明します。

## 技術サポート

iPassConnect の技術サポート情報に入手するには:

31. [Help (ヘルプ)] メニューで、[Technical Support (技術サポート)] を選択します。
32. ダイアログ ボックスに、社内のヘルプ デスクの連絡先情報が表示されます。
33. [OK] をクリックして閉じます。

## 接続ログ

接続ログには、接続に成功したものも失敗したものも含めて、過去の接続履歴が表示されます。この情報はアクセスに関する問題を診断する際に役立ちます。

接続ログを表示するには:

34. 接続ログを表示するには、[Help (ヘルプ)] メニューで [Connection Log (接続ログ)] を選択します。
35. [Connection Log (接続ログ)] が表示されます。[OK] をクリックして閉じます。

## ヘルプ

iPassConnect のヘルプを参照するには、**F1** キーを押すか、[Help (ヘルプ)] メニューの [Help Topics (ヘルプのトピック)] を選択します。ヘルプ ブラウザの [Additional Information (追加情報)] には会社固有の接続情報が表示されることがあります。

## バージョン情報

[About iPassConnect (バージョン情報)] ダイアログ ボックスには、iPassConnect クライアントの詳細が表示されます。この情報は、技術サポートを受けるときに必要になることがあります。以下の情報が表示されます。

- **バージョン:** ソフトウェアのバージョン番号
- **設定:** プロファイル番号と電話帳番号
- **著作権**
- **電話帳の更新:** アクセス ポイントのディレクトリが最後に更新された日付が表示されます。
- **ソフトウェアの更新:** iPassConnect ソフトウェアと関連の設定ファイルが最後に更新された日付が表示されます。
- **XDA ビルドナンバー:** XDA ビルドナンバーはモバイルデータを有効にしてある iPassConnect にだけ表示されます。

[バージョン情報] ダイアログ ボックスを表示するには:

36. [Help (ヘルプ)] メニューで、[About iPassConnect (バージョン情報)] をクリックします。
37. 確認をしたら、[OK] をクリックします。

## その他詳細

iPassConnect のインストールまたは操作に関して質問がある場合はヘルプ デスクにお問い合わせください。

## トラブルシューティング ヒント

iPass ネットワークへの接続に関する問題が発生した場合、以下のトラブルシューティング ヒントが問題の解決に役立つことがあります。これらのヒントは、あくまで参考までにご参照ください。これらのヒントで問題が解決しない場合は、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

### 全般的な接続のヒント

以下のヒントは、iPassConnect を使用した接続全般に適用されます。

#### アクセス ポイントへの接続が困難

- 選択したアクセス タイプに合ったハードウェアを使用していることを確認します。たとえば、WLAN アクセス ポイントにアクセスするには、WLAN カードを使用する必要があります。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になっているアクセス ポイントを使用している可能性があります。電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。

#### 所在地内にアクセス ポイントがない

- 探している市町村が電話帳に載っていないこともありますが、近隣の市町村のアクセス ポイントがある可能性があります。
- 可能な場合、他のアクセス ポイントで接続してください。たとえば、市内でブロードバンドにアクセスできないブロードバンド ユーザは、市内のダイヤルアップ接続を探してみてください。
- 米国では、同じ市外局番の別の都市（市内通話扱い）があるかどうか確認してください。
- 一部の国では、全国統一料金またはトールフリーが実施されています。全国統一料金のアクセス ポイントは市内料金であるため、通常は比較的安くなっています。トールフリーのアクセス ポイントは市内通話ではなく、一般に、通常よりも高い接続料金をユーザまたはユーザの会社に請求します。（米国では、[Search by Number（番号で検索）] に 800 を入力すると、トールフリーである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属するアクセス ポイントが一覧表示されます。）
- 市外のアクセス ポイントについては、市内のオペレータに国内料金を確認してください。一部の国では、国内の長距離通話料金が非常に安くなっています。

#### 間違ったパスワード

- ユーザ名、ドメイン名、およびパスワードを再入力します。
- パスワードの入力では大文字と小文字が区別されます。CAPS LOCK キーが押されていないこ

とを確認してください。

- [Login Information (ログイン情報)] の [Domain (ドメイン)] フィールドに、「example.com」などの正しいドメイン名が入力されていることを確認します。
- 認証サーバがダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。
- 使用しているユーザ アカウントが無効になっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。

#### パスワード認証が遅い

- 一部の地域では、接続に 120 秒以上を要することがあります。処理が完了するまで待ってください。
- 一般に、接続元から離れているほど認証プロセスに時間を要します。[Settings (設定)] メニューで [Connection Settings (接続の設定)] を選択し、[Dialup (ダイヤルアップ)] タブをクリックします。[Redial if not connected in] Eseconds (ダイヤル後に接続完了を待つ時間) が 120 秒に設定されていることを確認します。それでも正しく認証が行われない場合は、この時間を最長 180 秒まで設定してみてください。
- 認証サーバがダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに確認してください。

### ダイヤルアップのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントは、ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、および ISDN) 接続に適用されます。

#### アクセス ポイントへの接続が困難

- ダイアルのプロパティで、必要な外線発信番号と市内ダイヤル番号が設定されていることを確認します。多くのホテルでは、外線発信を行うときに追加の文字をダイヤルする必要があります。
- 受話器をとり、手動でアクセス ポイントの電話番号をダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボードのオーバーロードや、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。
- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になったアクセス ポイントに接続を試みている可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイアルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。

- 番号を覚えている場合でも、手動で [Dial String (ダイヤル文字列)] ボックスにアクセスポイントの電話番号を入力しないでください。

#### 発信音が聞こえない

- 電話を接続してダイヤルし、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと壁面の電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。
- スピーカの音量が上がっているか確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows ソフトウェアを再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

#### モデムが見つからない/モデム音が聞こえない

- モデムがコンピュータにインストールされていることを確認します。そうでない場合は、モデムのインストールが必要です。
- 複数のモデムがインストールされている場合は、正しいモデムに接続していることを確認します。
- 電話を接続してダイヤルし、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと壁面の電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。
- デジタル電話システムの場合は、接続用の特別なアダプタが必要になることがあります。専用ファックス回線へのアクセスを要求することもできます。ファックスはアナログです。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときとは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。[Location same as selected number (選択したアクセスポイントと同じ市内)] のチェックボックスをオン (またはオフ) にして、再度接続を試みます。
- モデムの音が聞こえない場合は、スピーカの音量がオフまたは使用不能になっていないかを確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows を再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

#### モデムの音が大きすぎる/止まらない

- 電話回線が、既に使用されていないことを確認します。
- モデムの音量設定が大きすぎる可能性があります。コンピュータとモデムの両方または一方の音量を下げます。

- モデムが通信の同調に失敗しているか、互換性がない場合は、手動でモデムを設定し直す必要があります。モデムに付属のマニュアルを参照するか、ヘルプ デスクに問い合わせてください。

#### 回線が話し中

- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 既に無効になっているアクセス ポイントを使用している可能性があります。電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- 受話器をとり、手動でアクセス ポイントをダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボード システムのオーバーロードや、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。
- モデムが発信音、話し中の信号音、またはその両方を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows を再設定する必要があるかもしれません。Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

#### 応答がない/人の声で応答がある

- 接続先のアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 無効になったお気に入りを使用している可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。

#### セッションの途中で接続が中断される/切断される

- 突然の切断は、電磁波障害 (Electro Magnetic Interference、EMI)、回線のノイズ、またはトラフィックの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。
- インターネットに接続したまま使用していない場合に自動的に切断するように、iPassConnect が設定されている可能性があります。ヘルプ デスクに問い合わせてください。

#### Web ページへのアクセスが遅い

- 低速な Web アクセスは、EMI、回線のノイズ、またはインターネットの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。

## イーサネットのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントはイーサネット接続に適用されます。

### *iPassConnect* を使用してログインできない

- *iPassConnect* を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。社内の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、社内の *iPass* 管理者に詳細を問い合わせてください。
- イーサネット ケーブルがコンピュータと壁面ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- ほとんどのイーサネット カードはケーブル コネクタに付けられた LED によって、イーサネット接続が有効かどうか示されています。LED が点灯していることを確認してください。

## WLAN のトラブルシューティング ヒント

以下のヒントはワイヤレス ブロードバンド接続に適用されます。

### *iPassConnect* を使用してログインできない

- 無効なアカウント: *iPassConnect* を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。社内の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、社内の *iPass* 管理者に詳細を問い合わせてください。
- WLAN アダプタ: WLAN アダプタが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合には、アダプタのマニュアルを参照します。
- 障害: 壁、柱、大型機械などの障害物に妨害されていないことを確認します。
- 信号強度: Windows システム トレイに通常置かれているリンク状況メータをチェックして、信号強度と品質が 50% 以上であることを確認します。アイコンの上にマウス ポインタを移動すると、リンク状況が表示されます。
- WEP キー: 管理者が指定したように、SSID が正しい WEP キー インデックスとキー値の組み合わせで設定されていることを確認します。キー インデックスまたはキー値が無効な場合、クライアントは Wi-Fi POP との接続に失敗します。

## モバイル データのトラブルシューティング ヒント

このアドバイスは、モバイル データ ワイヤレス接続に適用されます。

### *iPassConnect* を使用してログインできない

- キャリアのネットワークの圏域外の可能性があります。
- *iPassConnect* でモバイル データ カードを使用するには、キャリアのネットワークのアカウントを取得する必要があります。
- *iPassConnect* を使用してログインに成功したことがない場合は、キャリアのアカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。詳細については、ヘルプデスクに問い合わせてください。
- モバイル データ カードが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合には、カードのマニュアルを参照します。

- モバイル データの信号の障害の可能性があります。信号をブロックするような建物の中または近くではないことを確認してください。また、壁、柱、大型機械などの障害物に妨害されていないことを確認します。
- アンテナが十分に伸びていないか、誤った方向に向いている可能性があります。
- [Connection Settings (接続の設定)] の [Mobile Data (モバイル データ)] を確認してください。ユーザ名やパスワードなど、アカウントの識別情報が正しく記録されていることを確認します。
- モバイル データ カードで SIM を使用している場合、SIM が正しくカードに挿入されていることを確認してください。

**E N D O F D O C U M E N T**